

II 実践編

2 お出かけ防災教室 ※お出かけ防災教室実施要領を参照

(1) お出かけ防災教室 実施メニュー一覧

実施メニュー	概要	目安時間	備考
消防のしごと	消防士の仕事内容について説明します。	10分～20分	よこはま防災e-パーク(動画) 子どもコース>お出かけ防災教室>消防のしごと
消火器の使用方法 及び体験	消火器の重要性や使用方法などについて説明します。	10分～20分	よこはま防災e-パーク(動画) 3分シリーズ>火災>消火器の取扱い方法 使用資機材:訓練用消火器
119番通報要領	119番通報の体験を通じて、仕組みや重要性を説明します。	10～20分	よこはま防災e-パーク(動画) 3分シリーズ>火災>119番通報要領 使用資機材:119番通報装置(予防課貸出有)
煙体験	火や煙のまわり方、状況に応じた避難の仕方について説明します。	10～20分	よこはま防災e-パーク(動画) 子どもコース>お出かけ防災教室>煙からの避難 使用資機材:煙マシン、テント
地震体験	地震の揺れを体験し、とるべき避難行動や必要な備えを説明します。	20分～30分	・使用資機材:起震車(デスクネットから予約) ・横浜市民防災センター地震シュミレーター
住宅用火災警報器	鳴動音を聞いてもらい、住宅用火災警報器の役割と設置効果などを説明します。	10分	よこはま防災e-パーク(動画) 3分シリーズ>火災>住宅用火災警報器 使用資機材:展示用の住宅用火災警報器
車両展示	各種車両の特性や資機材、個人装備などの展示・説明します。	20分	参考リンク: 主な車両(横浜市ホームページ)
質疑応答	子どもたちの疑問や質問に答え、知的好奇心の向上を図ります。	10分～20分	使用テキスト:じぶん防災ハンドブック 動画版: じぶん防災ハンドブック (横浜市ホームページ)
番外編:防災センター バスツアー	総務局危機管理室及び交通局との連携により、交通手段がなく防災センターへの来館が難しい市立小学校を対象とした、無償の借り上げバスツアーがあります(応募制)		

II 実践編

(2) 実施例（3クラスで行う場合）

※ 実施内容は、学校側と調整の上、決定してください。

	5～10分	5分	15分～20分	5分	15分～20分	5分	15分～20分	5分	5～10分
1組	全体挨拶	移動	水消火器	移動	煙体験	移動	119番通報体験	移動	全体挨拶
2組			119番通報体験		水消火器		煙体験		
3組			煙体験		119番通報体験		水消火器体験		

～ポイント～

- 小学校3、4年生は、特に好奇心旺盛で行動力が高まる時期ですので、消火器取扱訓練等を行う際には、安全管理に十分配慮してください。
- 授業での学びを可能な限り保護者などに伝えるよう促してください。

II 実践編

(3) 説明要領（1組の場合）

参考例文になりますので、適宜変更してください。

全体挨拶⇒水消火器⇒煙体験⇒119番通報体験の順で行う場合

説明例文

全体挨拶	みなさんこんにちは。〇〇消防署の〇〇です。今日は、消防のしごとや火災予防についてみんなに知ってもらうために、お話を聞いてもらったり、体験をしてもらいたいと思います。
水消火器	プログラム-消火器取扱訓練を参照してください。
煙体験	プログラム-避難訓練を参照してください。
119番通報体験	プログラム-119番通報の仕方を参照してください。
全体挨拶	本日は、消火器の取扱い方法や避難の仕方など、様々な体験を通じて、学んでいただいたと思います。是非、本日学んだことをお友達やお家の方にも伝えて、いざという時に備えましょう。ありがとうございました。

II 実践編

(4) 参考資料

教材等	内容	備考
車両見学	車両や掲載している資機材の説明や乗車体験など	参考リンク: 主な配置車両(横浜市ホームページ)
水災害VR	「横浜市避難ナビ」は、一人ひとりの避難行動を一体的にサポートするアプリです。 ARを活用し浸水時の疑似体験ができます。	参考リンク: 横浜市避難ナビ(横浜市ホームページ)
キッズ消防隊・救急隊 (ダンス動画)	ダンスを通じて、楽しみながら防火・防災・救急を学ぶことができます。	参考リンク: よこはま防災e-パーク 学習動画一覧(こども向け)
よこはま防災e-パーク (外部サイト)	動画やミニテストなどのデジタル教材により、防災について学ぶことができます。	参考リンク: よこはま防災e-パーク 学習動画一覧(こども向け)
防災紙芝居 (横浜市ホームページ)	紙芝居の読み聞かせにより、子ども達が楽しく防災について学ぶことができます。	参考リンク: よこはま防災e-パーク 学習動画一覧(こども向け) 、子ども⇒キッズ防災教室
じぶん防災ハンドブック ※市内の小学校に配布しています。	お出かけ防災教室のテキストになります。  	参考リンク: じぶん防災ハンドブック(横浜市ホームページ) ※ よこはま防災e-パークにも掲載しています。

II 実践編

(5) 予想質問

質問	回答
消防車はなぜ朱色(赤色)ですか。	消防車の色は、法律で朱色と決められています。朱色は気を引く色であり、火をイメージさせて皆さんに注意を促すことも理由の1つとされています。
なぜ、サイレンをならすのか。	消防車や救急車が通行することをみんなに知らせるためです。
横浜市には何台の消防車がありますか。	約600台の車があります。
横浜市消防局では、何人の人が働いていますか。	約3,700人の消防職員が働いています。
横浜市には消防署と消防出張所はいくつありますか。	18消防署、78消防出張所があります。
消防車の中にはどんな道具があるのですか。	ホース、管槍、発電機、照明器具、はしご、空気呼吸器、破壊器具、水(水槽車では1,500リットル程度)などが積んであります。
火事や救急出場がないときは、何をしていますのですか。	いつ災害が起きても出動できるように、消防車や機械器具の点検、様々な災害に対応できるように、予め勉強や訓練をしています。また、日々過酷な現場で迅速かつ確実な活動ができるように、トレーニングも行っています。

II 実践編

(6) オンラインで実施する場合

市内の公立小学校には、「横浜市におけるGIGAスクール構想」に基づき、一人一台のタブレット端末と大容量高速ネットワークが整備されており、オンラインによる授業も可能となっております。当初は、新型コロナウイルス感染症対策として開始されましたが、移動時間の削減をはじめ、熱中症対策及びインフルエンザ等の感染症対策としても有効であることが確認されたため、学校側からの希望があった場合には、以下の要領で実施してください。



〈実施イメージ〉

II 実践編

【実施の流れ】

① 実施日時決定

② 資機材の搬入

訓練用消火器や住宅用火災警報器など、授業で使用する資機材を学校へ搬入し、担当教員への操作方法を伝えてください。（消火器のピンの戻しなど）教室内で実施する場合には、空気のみを充填した訓練用消火器で実施してください。

③ 事前接続

学校及び消防署のインターネット環境や教室内の画角等、円滑に授業が進められるように接続確認を実施してください。

④ 実施

教員用PC/iPadを各教室のモニターにミラーリングして実施



消防署側は、回線切断時のバックアップ用端末を1台以上用意しておく。



119番通報訓練や質問コーナーなど、児童が発言するとき以外は、円滑な授業運営のために学校側をミュート設定してもらおう。